



# Digital × 浮世絵

2025.11.21(金)ー12.17(水) 休館日:11.24(月)

会場 中央区立郷土資料館 常設展示室 (本の森ちゅうおう1階)

〒104-0041 東京都中央区新富一丁目13番14号

東京メトロ日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」(A3出口)から徒歩1分

東京メトロ有楽町線「新富町駅」(5番出口)から徒歩6分

江戸バス「八丁堀駅」からすぐ

開館時間 午前9時から午後9時まで ※日曜日、祝日は午後5時まで

入場料 無料

TEL 03-3551-2167

主催 中央区立郷土資料館

協力 公益財団法人似鳥文化財団、株式会社NTT ArtTechnology、株式会社アルステクネ

 本の森ちゅうおう  
HON no MORI CHUO

画像提供: 公益財団法人似鳥文化財団

上/源頼光公館土蜘蛛妖怪図(歌川国芳作) 左下/東海道五拾三次之内 日本橋(歌川広重作) 右下/東都名所 駿河町之図(歌川広重作)



# Digital × 浮世絵

「江戸文化」の発信地であった現在の中央区。江戸時代において文化・出版の発信地として栄え、多くの浮世絵師たちが活躍した地でもあります。なかでも、18世紀後半から19世紀にかけて喜多川歌麿や歌川広重といった絵師たちが登場し、江戸文化を彩る浮世絵を描いて一世を風靡しました。

【Digital × 浮世絵】展では、日本を代表する浮世絵師たちの貴重な作品（公益財団法人似鳥文化財団収蔵）を、独自の技術（※）によって高精細にデジタル化し、そのデータをもとに制作された高精細複製画や拡大パネルを展示いたします。

浮世絵版画は光に弱く退色しやすいため、通常は照明を落とした空間で、展示ケース越しにしか見ることができません。本展では、高精細デジタルデータにより原画の質感を忠実に再現した複製画や拡大パネル、デジタルアプリケーションにより、明るい照明の下、至近距離で作品本来の色彩や質感、細部の表現をじっくりと鑑賞することができます。

本展を通じて、江戸文化の奥深さと浮世絵の魅力をあらためてご体感いただければ幸いです。

※株式会社アルステクネの特許技術「三次元質感画像処理技術（DTIP）」



**NTT ArtTechnology** NTT東日本グループであるNTT ArtTechnologyは、地域のお客さまとともに、デジタル技術を活用した文化財の承継および活用に関する取り組みを行っております。その一環として、2021年より公益財団法人似鳥文化財団（小樽芸術村）が収蔵する浮世絵作品計140点を、高度なデジタル化技術を有するアルステクネとともにデジタル化してまいりました。原画を細部まで忠実に再現した原寸大の高精細複製画やデジタル技術により生まれた新しい展示作品を通じ、ぜひ作品の魅力をご体感ください。

NTT ArtTechnologyは、時とともに失われつつある地域の文化財のデジタル化を通じて、集積・発信していくことで、「地域と地域をつなぐ」「日本と世界をつなぐ」ことをめざしてまいります。

**小樽芸術村** 小樽芸術村は、北海道に生まれ育てられた株式会社ニトリが、社会貢献活動の一環として2016年に開設しました。2020年からは公益財団法人似鳥文化財団が運営を担っております。小樽が経済都市として発展した大正から昭和にかけて建設された5棟の歴史的建造物を活用した4つのミュージアムに加え、2025年7月24日に5番目のミュージアムとなる「浮世絵美術館」が開館しました。

